

10/28・米、対中国「外交努力も」 南シナ海航行は継続、硬軟両様

ベトナム、フィリピンの12カイリ内も航行 米軍司令官が来月初旬に訪中

10/29・米利上げ再び見送り 12月に含み、雇用見極め

- ・米、南シナ海問題で首脳会談呼びかけ 中国に「人口島」中止説得
中国「対話で解決」 経済減速、米と衝突望まず

10/30・米成長1.5%に鈍化(7-9月年率、前期は3.9%) 輸出が伸び悩み

- ・中国5中全会閉幕 一人っ子政策撤廃 経済減速で転換 < 1 >
2016年からの5カ年計画 高速成長から6%台後半の「中高速成長」へ
- ・メルケル独首相訪中 ドイツに元建て取引所合意 < 2 >
中国工商銀行がVWグループに営業運転資金支援で覚書
- ・日本9月消費支出マイナス0.4%、2カ月ぶり減 物価は2カ月連続下落
- ・日銀、金融政策決定会議で追加緩和見送り 物価上昇2%目標は来年度後半ごろ
物価目標再び先送り 4月に「15年度を中心とする時期」から「16年度前半頃」に延期
進まぬ賃上げ懸念 政策手段に限界の見方

10/31・GDP600兆円目標で経済財政諮問会議が内訳原案 < 3 >

TPPで輸出増25兆円、インフラ受注30兆円、農水産輸出は14年約6000億円から2兆円超に
訪日外国人消費は14年2兆円を年7~10兆円に(4000万人受け入れで)
働く女性や高齢者を500万人増やしオリンピック建設投資は10兆円

11/01・中韓首脳会談(31日ソウル) 中韓FTA「年内発効を」 < 4 >

- 中国で人民元建て韓国債発行 南シナ海議題にせず 歴史認識も日本に配慮
- ・日中韓首脳会談(1日午前ソウル)、3年半ぶり開催 関係改善へ協力 < 5 >
FTA交渉を加速 歴史・領土深入り回避

11/02・日中首脳会談(1日午後) 経済閣僚協議、来年早期に < 6 >

- 東シナ海ガス田協議再開めざす 中国の対日姿勢変化
- ・日韓首脳3年半ぶり会談(2日) 慰安婦交渉加速で一致 < 7 >
慰安婦財政支援拡大へ年内の進展目指す TPP、韓国参加へ協議

11/03・オランダ仏大統領訪中 中国、仏アレバに出資 原発市場を共同開拓 < 8 >

- ・日中韓、協調演出に腐心 会談感情的にならず懸案事項公表抑える
「歴史」強調せず領土追及避ける 中韓両首脳、来年前半来日へ
- ・トルコ総選挙、与党圧勝で改憲論 大統領権限強化へ クルド勢力不満も
- ・米韓安保協議 対北朝鮮ミサイルに積極対応 南シナ海問題は温度差

<1>

中国の次期5カ年計画 (2016~2020年)の主な目標	
○	「中高速」の経済成長を維持
○	すべての夫婦に第2子認める
○	質と効率が高い消費主導経済に
○	技術革新、産業高度化に重点
○	税財政、金融などの改革推進
○	行政改革通じ市場の活力発揮
○	環境保護へ「美しい中国」建設
○	対外開放、FTA戦略の推進
○	新シルクロード構想の推進
○	所得上昇、貧困撲滅で格差縮小

<2>

中国とドイツが合意した経済協力の内容	
金融	独フランクフルトに元建て商品を扱う新市場を開設、外為取引でも合併事業
インフラ	アジアインフラ投資銀行を軸に協力拡大、両国企業が共同でシルクロード域内などに進出
貿易	中国とEUの自由貿易協定交渉を加速
自動車	中国工商銀行がフォルクスワーゲンに金融支援、エコカー普及でも協力
航空	中国がエアバス製航空機130機を170億ドルで購入
機械・IT	製造業の高度化で連携

<3>



<4>

中韓経済協力の 主な合意事項	
・	中韓FTAの年内発効を目指す
・	中国で人民元建て韓国国債を発行
・	上海に人民元とウォンの直接取引市場を開設
・	第三国市場での共同インフラ投資を推進
・	中国の株式・債券市場への投資規制緩和

<5>

日中韓首脳会談の ポイント	
「歴史直視し未来志向」	包括的かつ高いレベルの日中韓自由貿易協定(FTA)交渉加速に努力
○	日中韓首脳会談の定例化を確認
○	歴史を直視し、未来を志向するなどの精神の下に諸課題に対処
○	2国間関係を改善し、3カ国協力を強化

<6>

日中首相会談のポイント	
○	来年早期に日中ハイレベル経済対話を開催
○	外相の相互訪問を再開
○	東シナ海のガス田共同開発協議の再開を目指す
○	海空連絡メカニズムの早期運用開始へ努力

<7>

日韓首脳合意の実現へのハードルは高い		
	主な合意	今後
慰安婦問題	年内を念頭に早期妥結へ交渉加速	→ 日本は元慰安婦への支援事業拡大などを検討
北朝鮮	非核化へ連携強化	→ 朝鮮半島有事での自衛隊の活動範囲を協議へ
南シナ海	首相が懸念を伝達。大統領は問題意識を共有	→ 東南アジア諸国連合(ASEAN)との協調探る
TPP	韓国の検討を見守ると首相が伝達。大統領は参加に意欲示す	→ 韓国は日本に協力要請へ

<8>

中仏首脳会談の 主要テーマ	
原子力	○ 海外原発市場の共同開拓で連携強化 ○ 中国国有企業が仏アレバに出資
環境	○ 温暖化対策で協力拡大 ○ 中国の水質改善などで仏技術の導入を拡大
航空	○ 新型航空機の開発などで技術協力を拡大
金融	○ 人民元の国際化へ連携強化